

タンネウシ



03

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

月号

会員限定「エゾシカ大群ウォッチングツアー」

1,000頭をこえるエゾシカの大群が集まる風連湖畔の走古丹(はしりこたん)、大迫力です! ワシも観察できます。お昼はご当地グルメグランプリ総なめの名物「別海ジャンボホタテバーガー」を食べます。▶3月24日(土) 8:00~15:00▶場所: 博物館集合、別海町走古丹まで行く▶メ切り: 3月15日(木)▶参加費無料(食事代は各自)▶定員30名(最少催行人員5名)▶要申込み



地球カフェ「地球の誕生から日本列島の形成まで」

46億年前に隕石の衝突から地球が生まれ、大気・海・大陸・生物・日本列島が現在の姿になった生いたちをビデオとコンピュータで紹介し、珈琲を飲みながら、身近な疑問をみんなで考えてみましょう。▶3月17日(土) 18:30~20:30▶場所: 交流記念館2F応接室▶参加費: 一般200円・協力会会員無料▶定員13名(最少催行人数5名)▶要申込み▶担当: 合地学芸員



第39回特別展開催中 知床の森のひみつ〜人とクロテンとシデムシのつながり

クロテンは森で死んだらどうなるのでしょうか? 森の生き物たちの糞はだれが片づけているのでしょうか?

この特別展では、人も含めて生き物たちのつながりの不思議をさぐり、

知床の森にかくされたひみつをちょっとだけ紹介しています▶期間: 3月11日(日)まで▶場所: 交流記念館ホール▶特別展のみの観覧は無料。



アイヌの使っていたテン・イタチ用ワナを再現。実際に試してみよう。

講演会を開催

2月13日~16日に開催した連続講演会「森のうちあけ話」には、のべ93人の皆さんにご参加いただきました。ありがとうございました。



1月31日、みなさん皆既月食を見ましたか?

当日は快晴に恵まれ、部分食の始まり(20時48分)から約3時間半に渡る天体ショーが見られました。皆既中の月は赤銅色をしていました。次回の皆既月食は今年の7月28日

ですが、月食が始まるとともに西に沈むので観測条件はあまり良くありません。



収蔵資料展示中「おひなさま」

昭和初期の御殿雛(段飾り)です。

▶場所: 博物館本館ロビー▶期間: 3月20日(火)まで。

今月の学芸員のイチオシ!



岩石研磨機 岩石薄片を作る機械です。中央の丸い板は下にあるモーターで回転し、その上に水に濡らした研磨材を置き、岩石を削ります。研究用機材としてだけでなく、博物館の石磨き講座でも使われています。(合地)

休館日 3月の休館日は、21日(祝・水)と、5・12・19・26日の月曜日です。

編集後記 沖合までの流氷原は見慣れているはずなのに、いたく感動! 同じ景色を見る旅人の感嘆・興奮は、いかばかりかと。(ひら)